

## 特定非営利活動法人山脈 イベント中止の決定！

新型コロナウイルスとの戦いが長期化の様相を呈す中、今年度、当法人は以下のイベントの中止を決定しました。

- ・ 10月 職員交流イベント（バーベキュー）
- ・ 1月 令和3年 特定非営利活動法人山脈 新年会
- ・ 2月 令和2年度 特定非営利活動法人山脈 職員研修会

## 【絵画教室】

10月の絵画教室はお休みです。

コロナウイルス感染拡大を受け、密閉・密集・密接を避けた対応が必要と判断しました。安心してまた絵画教室が開催できるようになりましたらご案内致します。



## 新年度(令和2年)度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

## 山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

発行 特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 繁男

住所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2(みやま工房内)

電話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：[rep@npo-yamanami.jp](mailto:rep@npo-yamanami.jp)

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」

就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」

多機能型事業所(就労継続支援A型・B型)「キッチンハウスみやま」

多機能型事業所(生活訓練・就労移行支援)「ワークハウスみやま」

グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・4号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)

## 「With コロナ」の時代

私達が今、経験していることは、恐らく人類として過去に経験のない事態だと思います。歴史を振り返れば、これまでも世界規模の感染症の流行はありましたが、今回とは世界経済の規模が異なります。

今回は、経済活動を停滞させずに、しかも新型コロナウイルスとの共存する新しい生活・新しい働き方が求められています。つまり「With コロナ」の時代です。

私達は、これからも新型コロナウイルスに限らず未知の感染症の脅威にさらされて行くと思います。今回の経験を活かし私達は未知の感染症と上手く付き合い感染症禍においても感染のリスクを抑えながら経済活動が滞ることない「新しい働き方」を築いて行かなければなりません。

## 「With コロナ」における新しい働き方とは？

「With コロナ」における「新しい働き方」として、大企業はもちろん中小も含め多くの企業が職場環境の3密を避けるため、在宅勤務などのテレワークやリモート会議等を導入しています。また、国も新型コロナウイルスの感染対策として、職場における3密の抑制のためテレワークや時差出勤等を推奨しています。

しかし、現実的には利用者さんと対面で支援する障がい者福祉の現場では、テレワークや時差出勤は難しいと思われています。そうした状況ですが、障がい者福祉の現場においても可能な限り「With コロナ」に対応できる「新しい働き方」を私達は模索して行く必要があります。

私達は、この「新しい働き方」としてICTの積極的な活用を検討したいと思います。ICT「information and communication technology(情報通信技術)」については、最近テレビのCMでも最近よく耳にすると聞きます。これまでもIT「information technology(情報技術)」という言葉はよく聞きましたが、ICTは、パソコンだけでなくタブレットやスマートフォンなど様々な機器を用い、インターネットの通信技術を利用し、単なる情報処理に限らずより情報の共有とコミュニケーションを重要視したサービスです。

私達の現場でも、既に事務的な業務である個別支援計画、支援記録、請求業務等については、手書きの書類は減り、ITを導入しペーパーレス化が進んでいます。しかし、それは情報の処理としてデータの作成が主であり、その情報を共有し、活用をしているかという点はまだ十分とは言えません。こうした事務的な業務については、更にICTの導入することにより、「With コロナ」の時代にあった「新しい働き方」が可能になると思います。

例えば、今、事務的な業務は利用者が帰った後に事務所の机に座り、パソコンを開かなければ行えず、その情報も事務所に行かなければ閲覧することができませんでした。しかし、Wi-Fi環境を整備しノートPCやタブレット等を導入することで、データの入力や閲覧について時間や場所の制限が緩和されます。そして、業務の効率化を図りつつ、テレワーク等が導入でき3密を避けた職場環境が作れます。

また、社内会議や外部の関係者も含めた支援会議などはオンライン会議を導入にすることで、3密を避けながら、移動などの時間を短縮し、効率の良い会議運営をすることも出来ます。特に支援会議等については、当法人だけでなく関係する外部の協力機関と共にその環境を整備し、共有する必要がありますが、きっとこのコロナ禍において近い将来には現実化すると思います。

コロナ禍は確かに私達に恐怖を与え、日々の生活に多大な不安を落としています。しかし、「With コロナ」の時代にあった「新しい働き方」を考えることにより、日々の仕事の仕方について考え直すきっかけになりました。この経験は必ず今後の私達の仕事にも変化をもたらす、コロナ禍が終息し、再び安心して日常生活が送れるようになった後も「新しい働き方」として定着すると思います。

## 職員交流WG

【目的】 当法人は5事業を運営し、70名余りの職員が在籍しています。しかし、法人の規模拡大に伴い、日常的に顔を合すことが少なくなり、職員の交流が希薄になってきたと感じています。そこで、このWGではレクリエーション等で職員の交流を深め、また余暇を楽しむことで日常の業務の活力につなげたいと思います。

- 【活動予定】 ① 職員に向け、レクリエーションに関するアンケートの実施  
② 年に2回程度、職員全体で参加できるレクリエーションを実施する。

- 【委員構成】 千葉 勝敏（みやま工房）  
大井由紀子（キッチンハウスみやま）  
綿貫 達仁（ワークハウスみやま）  
藤本三枝子（麦のゆめ）  
田代 尚美（ハーモニーやまなみ）  
笛木 文子（総務課）



左から、芦川、綿貫、笛木、千葉、大井、藤本

- 【抱負】
- ・職員の交流が少しでも活発になって法人の雰囲気は今よりも良くなるきっかけになればと思います。（千葉）
  - ・「参加して良かった！」と誰もが思えるような企画が理想だなあ……なんて思っています。（綿貫）
  - ・職員の方の情報交換、コミュニケーション不足解消となる交流を提供し、日々の生活や業務に活かして頂けたら幸いです。（藤本）
  - ・私自身も皆さんとの交流を楽しみにしています！一緒に楽しみましょう！（大井）
  - ・参加して良かったと思ってもらえるような会にしたいです。（芦川）
  - ・職員の皆さんが楽しくコミュニケーションがはかれ、日々楽しく生活できるようになったらいいなあと思いつつ活動したいです。（笛木）

## コロナ禍における職員交流の模索

新年度がスタートした4月時点では、新型コロナウイルス感染の第1波の真只中ではありましたが、まさかここまでコロナウィルとの戦いが長期化し、出口の見えないトンネルに入るとは夢にも思いませんでした。5月の連休前には、全国に緊急事態宣言が発令され一旦は感染者数も減り、夏頃には終息に向かうと思われたため、職員交流WGでも10月頃に伊香保グリーン牧場でバーベキューを計画していました。

しかし、再び感染が拡大し、まさに第2波と言えるこの状況を受けて、中止を余儀なくされました。法人としても今年度においては、コロナウィルス感染のリスクがある中、全職員を集めたイベント開催は全て中止の決定をしました。職員交流WGとしても、コロナ禍における職員交流の在り方を模索したいと思います。

## 創立記念事業(新年会)WG

- 【目的】 (1) 5年毎に開催する創立記念事業の企画運営  
(2) 法人の新年会の企画運営
- 【活動予定】 (1) 創立20周年記念事業（令和6年実施予定）  
(2) 令和3年新年会（新型コロナウイルス感染の為、中止）

- 【委員構成】 唐澤 到（みやま工房）  
村岡 佑一（キッチンハウスみやま）  
菅原 春美（ワークハウスみやま）  
高橋 英幸（麦のゆめ）  
田代 尚美（ハーモニーやまなみ）  
笛木 文子（総務課）

※笛木さんが得意のイラストでメンバーを紹介



イラスト(笛木)

- 【抱負】
- ・明るく、楽しく、激しく、がんばります。（唐澤）
  - ・コロナ渦で実力が発揮できない状況ですが、一年間頑張りたいと思います。（高橋）
  - ・先輩方に指導を頂きながら頑張らせて頂きます。（菅原）
  - ・コロナ渦で制約が事も多いですが皆さんが楽しめるよう頑張りたいと思います。（笛木）
  - ・30周年目指して楽しく頑張ります。（田代）

## 今年度の活動について

当法人は平成16年2月10日に法人認可を頂きました。そして、5年毎に実施する創立記念事業については、今年の2月に創立15周年記念事業を実施したばかりです。次回、創立20周年記念事業は令和6年2月頃開催する予定です。ですから、創立20周年記念事業の準備はまだまだ先になりますので、今年度は、毎年1月に実施する法人の新年会の企画運営が活動の中心となります。

しかし、その新年会もこの新型コロナウイルス感染拡大が終息する見通しが無い中、早々に中止が決定してしまいました。残念ですが、今年度は具体的な活動ができません。

そこで、今年度は令和4年の新年会の準備として、新年会の内容について再考することとなりました。色々な意見を出してもらい、一年の最初にみんなの心がひとつになるような新年会を企画したいと思います。

